



平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年10月31日

上場会社名 小松精練株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3580 URL <http://www.komatsuseiren.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)池田 哲夫
 問合せ先責任者 (役職名)管理部門長 (氏名)早瀬 智 TEL (0761) 55-8000
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月13日 配当支払開始予定日 平成25年11月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	19,071	4.4	520	△39.7	844	△19.5	758	△4.7
25年3月期第2四半期	18,263	△6.0	863	△33.2	1,049	△23.3	796	△8.9

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 955百万円(312.8%) 25年3月期第2四半期 231百万円(△71.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年3月期第2四半期	円 銭 17 69	円 銭 —
25年3月期第2四半期	18 64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
26年3月期第2四半期	百万円 44,478	百万円 32,183	% 70.2	円 銭 728 05
25年3月期	42,952	31,574	71.5	715 50

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 31,225百万円 25年3月期 30,691百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年3月期	円 銭 —	円 銭 6 00	円 銭 —	円 銭 8 00	円 銭 14 00
26年3月期	—	6 00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	6 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 37,000	% 3.0	百万円 1,000	% △22.2	百万円 1,500	% △17.1	百万円 1,200	% △0.0	円 銭 27 98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期2Q	43,140,999株	25年3月期	43,140,999株
26年3月期2Q	251,770株	25年3月期	245,805株
26年3月期2Q	42,892,150株	25年3月期2Q	42,712,107株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は、この四半期決算短信の開示時点において、終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- 決算補足説明資料は、決算発表後すみやかに当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済政策や金融緩和の効果により円安、株高で輸出企業中心に景気回復の兆しはあるものの、エネルギーや原材料価格の上昇等における製造コストの圧迫や、国内の消費については低迷したままで全般的な回復までには至りませんでした。一方海外では欧州経済の停滞や中国をはじめとする新興国経済の減速など、依然として景気回復の実感が伴わない状況となっております。

このような状況のなか、当社グループは独自技術の優位性を発揮することに注力し、グループ企業間の連携強化によるシナジー効果を最大限に発揮させるためのグループ再編や、商品開発をはじめとするブランド力の強化を図り、前期に引き続き海外向けファッション分野は伸長しましたが、中国事業などが低迷から脱却できませんでした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、19,071百万円（前年同期比4.4%増）となり、営業利益は520百万円（前年同期比39.7%減）、経常利益は844百万円（前年同期比19.5%減）、四半期純利益は758百万円（前年同期比4.7%減）の増収減益となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

[繊維事業]

衣料ファブリック部門は、当社の得意とする高感性・高機能素材の開発と市場導入の積極的な推進により、特に欧州市場を中心にファッション衣料が堅調に推移し増加しました。また、スポーツ衣料はアウター素材を含めて海外市場で持ち直しの兆しを見せましたが、民族衣装は在庫過多による市場の低迷が続いているほか、中国事業の低迷もあり、当部門全体ではわずかな伸張で終わりました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野及び生活関連資材分野が堅調に推移し増加したものの、リビング及び車輦分野は減少しました。また、超微多孔スポンジ状セラミック基盤「グリーンビズ」は、欧州展開の開始や建設業界と連携した環境市場への活用提案を積極的に行い、着実に市場認知度を高めています。

製品部門は、株式会社パッツの買収により拡大しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は18,492百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

[その他の事業]

物流分野が堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の当事業の売上高は579百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産については、「有価証券」並びに「受取手形及び売掛金」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ1,526百万円増加し、44,478百万円となりました。

負債については、「支払手形及び買掛金」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ917百万円増加し、12,295百万円となりました。

純資産については、「利益剰余金」並びに「為替換算調整勘定」が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ609百万円増加し、32,183百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益や減価償却費の計上に加え、仕入債務の増加などにより、1,348百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、有価証券の取得等により、685百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当金の支払いなどにより、361百万円の支出となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、7,658百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想につきましては、引き続き厳しい経済環境が続くことを踏まえ、平成25年5月10日に公表しました業績予想を修正いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,361	7,696
受取手形及び売掛金	7,728	8,298
有価証券	3,940	4,780
商品及び製品	2,063	2,205
仕掛品	889	890
原材料及び貯蔵品	1,968	1,902
繰延税金資産	257	399
その他	380	198
貸倒引当金	△51	△44
流動資産合計	24,537	26,326
固定資産		
有形固定資産	7,896	7,923
無形固定資産	239	274
投資その他の資産		
長期預金	1,000	1,000
投資有価証券	7,370	7,095
繰延税金資産	810	856
その他	1,116	1,017
貸倒引当金	△17	△14
投資その他の資産合計	10,279	9,954
固定資産合計	18,414	18,151
資産合計	42,952	44,478

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,176	5,846
短期借入金	251	250
未払法人税等	357	371
賞与引当金	343	437
その他の引当金	18	182
その他	1,093	1,102
流動負債合計	7,241	8,191
固定負債		
退職給付引当金	3,419	3,381
役員退職慰労引当金	516	503
環境対策引当金	11	11
その他	189	207
固定負債合計	4,136	4,103
負債合計	11,378	12,295
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	20,949	21,310
自己株式	△108	△111
株主資本合計	30,242	30,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	483
為替換算調整勘定	△98	142
その他の包括利益累計額合計	449	625
少数株主持分	882	957
純資産合計	31,574	32,183
負債純資産合計	42,952	44,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	18,263	19,071
売上原価	14,836	15,174
売上総利益	3,426	3,897
販売費及び一般管理費	2,563	3,376
営業利益	863	520
営業外収益		
受取配当金	62	64
為替差益	—	52
持分法による投資利益	82	99
その他	122	114
営業外収益合計	267	330
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	54	—
その他	27	5
営業外費用合計	82	6
経常利益	1,049	844
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	67	56
負ののれん発生益	117	—
特別利益合計	185	57
特別損失		
固定資産除却損	5	5
投資有価証券売却損	86	—
臨時損失	13	2
その他	0	—
特別損失合計	104	8
税金等調整前四半期純利益	1,130	894
法人税、住民税及び事業税	335	350
法人税等調整額	25	△148
法人税等合計	361	201
少数株主損益調整前四半期純利益	769	692
少数株主利益	△27	△66
四半期純利益	796	758

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	769	692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△574	△73
為替換算調整勘定	36	382
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△45
その他の包括利益合計	△537	262
四半期包括利益	231	955
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	245	879
少数株主に係る四半期包括利益	△13	75

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,130	894
減価償却費	612	596
負ののれん発生益	△117	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	20	△9
その他の引当金の増減額 (△は減少)	247	164
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△49	△38
持分法による投資損益 (△は益)	△82	△99
受取利息及び受取配当金	△89	△83
支払利息	0	0
投資有価証券売却損益 (△は益)	18	△56
固定資産除売却損益 (△は益)	4	9
売上債権の増減額 (△は増加)	△914	△480
たな卸資産の増減額 (△は増加)	349	12
仕入債務の増減額 (△は減少)	26	640
その他	△100	36
小計	1,057	1,586
利息及び配当金の受取額	93	88
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△653	△324
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	1,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,105	△2,708
定期預金の払戻による収入	2,091	2,728
有価証券の取得による支出	△3,830	△6,100
有価証券の償還による収入	6,130	5,260
投資有価証券の取得による支出	△177	△7
投資有価証券の売却による収入	160	274
固定資産の取得による支出	△698	△333
固定資産の売却による収入	0	1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△494	—
短期貸付けによる支出	—	△1
短期貸付金の回収による収入	—	200
長期貸付けによる支出	△100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	148	△16
配当金の支払額	△256	△342
自己株式の取得による支出	△1	△3
自己株式の処分による収入	99	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10	△361
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	52
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	469	353
現金及び現金同等物の期首残高	7,008	7,304
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,477	7,658

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,731	532	18,263	—	18,263
セグメント間の内部売上高 又は振替高	32	879	911	△911	—
計	17,763	1,411	19,175	△911	18,263
セグメント利益	781	76	857	5	863

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,492	579	19,071	—	19,071
セグメント間の内部売上高 又は振替高	38	900	938	△938	—
計	18,530	1,479	20,009	△938	19,071
セグメント利益	427	91	518	1	520

(注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。